

**「社会保険の適用拡大が短時間労働に与える影響調査」結果**  
**—短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に伴い、**  
**事業所や労働者はどのように対応する意向なのか—**

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training



「社会保険の適用拡大が短時間労働に与える影響調査」結果  
—短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に伴い、  
事業所や労働者はどのように対応する意向なのか—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## ま え が き

「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律」が2012年8月に成立し、短時間労働者に対する社会保険の適用範囲が拡大されることとなった。厚生年金・健康保険の被保険者（国民年金の第2号被保険者）として、2016年10月以降はこれまでの週所定労働時間30時間以上に加え、新たに週所定労働時間20時間以上、月額賃金8万8千円以上、勤務期間1年以上のすべての要件を満たす短時間労働者（ただし、学生及び従業員数500人以下の企業に使用される者は除く）も対象になる。

短時間労働者に対する社会保険の適用拡大をめぐるっては、この間、数次にわたり検討が重ねられ、2007年には短時間労働者に対する厚生年金の適用拡大を含む被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律案が国会に提出されたものの、衆議院の解散により廃案になった等の経緯がある。こうしたなか、今般の法律の成立を受け労使はどう行動する意向なのか、短時間労働者の雇用管理にどのような影響があるのかなどを把握するため、本研究では事業所とそこで雇用されている短時間労働者の双方に対するアンケート調査と、企業及び労働組合を対象としたインタビュー調査を実施した。

結果をみると、短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に向けた事業所の対応・検討は既に始められており、「適用拡大要件にできるだけ該当しないよう所定労働時間を短くし、その分より多くの短時間労働者を雇用」する方向性や、「短時間労働者の人材を厳選し、一人ひとりにもっと長時間働いてもらい雇用数を抑制」する方向性のほか、他の労働力の活用などが模索されている。これに伴い、適用拡大対象の短時間労働者の働き方も、長時間化と短時間化の二極化が進展し、新たに社会保険が適用されるようになる者が現れる一方、雇用保険の対象からも外れてしまう者が増加する恐れもあることが示唆されている。

本報告書が、今後の政策論議の活性化に資すれば幸いである。調査の実施に当たり、ご協力いただいた多くの事業所・短時間労働者の方々に厚く御礼申し上げたい。

2013年8月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野和夫

## 担当者

荻野	登	調査・解析部部长
新井	栄三	調査・解析部主任調査員
渡辺	木綿子	調査・解析部主任調査員補佐（執筆）

## 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
第1節 調査の趣旨.....	1
第2節 調査の方法.....	1
1. アンケート調査.....	1
2. インタビュー調査.....	3
<b>第2章 アンケート調査結果の概要</b> .....	4
<b>第1節 短時間労働者を雇用する事業所に対する調査結果</b> .....	4
1. 有効回答事業所の主な属性.....	4
(1) 業種.....	4
(2) 常用労働者規模.....	4
(3) 短時間労働者を雇用している理由.....	5
2. 社会保険の適用拡大要件を満たす短時間労働者の有無と、社会保険が適用 拡大される場合の雇用管理等の見直し意向.....	6
3. 雇用管理等の具体的な見直し内容.....	7
4. 業種別にみた、社会保険の適用拡大に伴う短時間労働者の雇用管理等の見直し 意向.....	9
5. 常用労働者の規模別にみた、社会保険の適用拡大に伴う短時間労働者の雇用 管理等の見直し意向.....	12
6. 正社員の所定労働時間と比較した割合別の一般パートの雇用状況でみた、社会 保険の適用拡大に伴う短時間労働者の雇用管理等の見直し意向.....	14
<b>第2節 短時間労働者に対する調査結果</b> .....	17
1. 有効回答労働者の主な属性.....	17
(1) 性別、年齢階級、婚姻状況、最終学歴.....	17
(2) 昨年における自身の年収と世帯年収.....	18
(3) 就業の状況.....	18
(4) 世帯の収入源と自身が働くことを辞めた場合の家計に対する影響.....	19
(5) 現在の会社で短時間労働者という働き方を選んだ理由.....	21
(6) 副業の状況.....	21
(7) 現在の仕事・会社に対する満足度と今後の働き方に対する希望.....	22
2. 社会保険の加入状況と自身が厚生年金・健康保険の被保険者になる希望の有無..	24
3. 社会保険の適用拡大要件の該当有無.....	25
4. 社会保険が適用拡大された場合に働き方を変更する意向と具体的内容.....	26

5. 会社から労働時間の短縮を求められた場合の対応 .....	27
6. 主な属性別にみた自身が被保険者になる希望と適用拡大に伴い働き方を変更する意向 .....	28
(1) 性別、年齢階層別、婚姻状況別、世帯の収入源と自身が働くことを辞めた場合の家計に対する影響別 .....	28
(2) 就業の状況別 .....	31
(3) 現在の仕事・会社に対する満足度と今後の働き方に対する希望別 .....	32
<b>第3章 インタビュー調査結果の概要 .....</b>	<b>35</b>
<b>第1節 社会保険が適用拡大された場合、どのような企業行動・方針を採るか .....</b>	<b>35</b>
<b>第2節 そうした企業行動・方針を採る上での課題は何か .....</b>	<b>36</b>
<b>第3節 調整期間はどの程度要するか .....</b>	<b>37</b>
<b>第4節 代替措置の可能性 .....</b>	<b>37</b>
<b>第4章 アンケート調査及びインタビュー調査結果をめぐる考察 .....</b>	<b>38</b>
<b>第1節 社会保険の適用拡大に伴い、短時間労働者の雇用管理はどう変わるのか .....</b>	<b>38</b>
<b>第2節 社会保険の適用拡大に伴い、短時間労働者の働き方はどう変わるのか .....</b>	<b>43</b>
<b>第3節 まとめと政策的インプリケーション .....</b>	<b>47</b>
<b>付属資料</b>	
① 調査票 .....	51
② 付属統計表 .....	65
③ インタビュー調査記録 .....	89